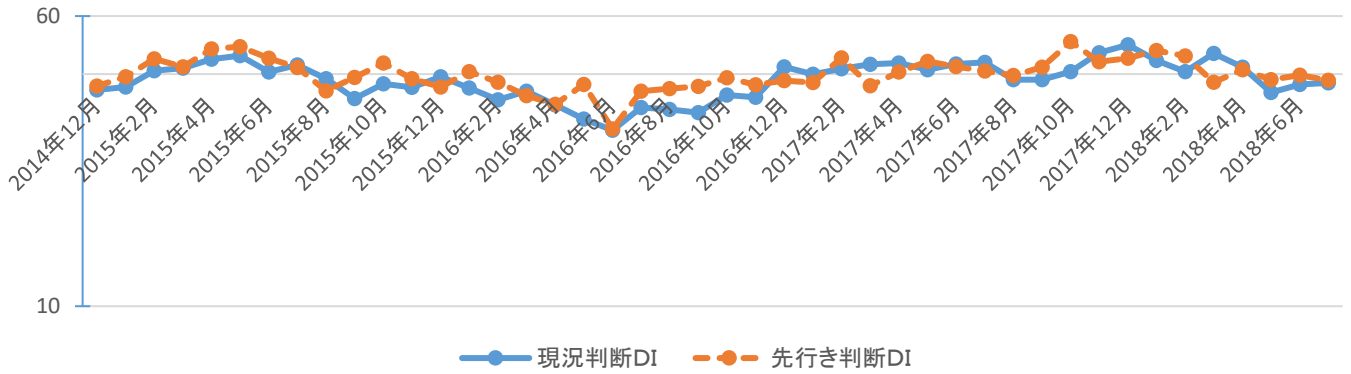


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年7月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《来客数の動き》梅雨明けが例年よりも10日以上早いこと、そして連日の猛暑は、コンビニにとって追い風ではない。今年の夏季は、高値入率商材の飲料等の販売が見込めるので、売上、利益共に期待できる。結果として景気に好影響がある。【コンビニ（本部管理担当）】
		不変	《来客数の動き》大阪北部地震の後、県が提供する家屋の無料耐震診断の依頼が多くなっているが、業務としては全く助けにはならない。ほぼボランティアである。【設計事務所（経営者）】
		やや悪	《お客様の様子》一番大きいのは異常気象である。この異常な暑さ、水害、平成30年7月豪雨等、自然に対する不安は国民の消費を鈍らせる。【乗用車販売店（従業員）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》建築業、自動車部品産業、運送業において比較的仕事量が多く、従業員が足りないという話をよく聞く。【金融業（従業員）】
		不変	《その他》中小企業の収益性は向上していない。また、中小企業に勤務の労働者の賃金は増加していない。大企業による中小企業との取引条件の過度な厳格化により、中小企業の収益性が圧迫されており、ひどい場合には資産超過でも廃業に追い込まれるケースもある。【公認会計士】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》受注量が減少している。単価の値上げも試みているが、旧単価で受注した商品の納入がまだ継続しており、全体的に価格を引き下げている。【金属製品製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》夏のイベントが天候にも恵まれ好調で、良くなっている。【人材派遣会社（社員）】
		不変	《周辺企業の様子》自然災害が発生するなか、今後の投資等の前に災害防止対策を練る企業が増加傾向にある。これにより、売上に直結する投資が消極的になっている。【人材派遣業（営業担当）】
		やや悪	《周辺企業の様子》引き続き、自動車関連企業を中心に多くの引き合い残があるものの、業務に就いていないエンジニアの人数は、当エリアが他のエリアと比較して最も多いため、3か月前と比べてやや悪くなっている。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	今年の夏季は好天候に恵まれ、人の流動性が活発になり、特に小売業は特需となる可能性が高い。その状況に鑑みた場合、一時的に景気は良くなる。【コンビニ（本部管理担当）】
		不変	紙巻きたばこの売上が減少しているが、電子たばこが増加しているため相殺されている。今後、電子たばこの値上げ情報があるので推移を見守りたい。【コンビニ（店長）】
		やや悪	異常気象による酷暑で、客の来店頻度が減少している。また、農作物の高騰、入荷不安定により、全てがマイナスに陥っている状況である。この夏は厳しい。【スーパー（支店長）】
	企業 動向 関連	やや良	建築業、物流、自動車産業等において、工場や作業等の人手が足りない。若干だが仕事量が多く、将来にわたっても生産量の予定を多めに組んでいる。【金融業（従業員）】
		不変	部品不足により設備の納期が長くなったため、客が計画をかなり前倒しして発注していた。ついに、その前倒し分を全て受注してしまったため、もう精度の高い引き合いが残っていない。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	今年の異常気象で、ずっとエアコンをつけ、電気代が上がることを心配する人がたくさんいる。【輸送用機械器具製造業（品質管理担当）】
	雇用 関連	やや良	一旦落ち着いた採用意欲が、下期に向けて上がってくる。4～7月くらいは、主に新入社員の教育に時間を費やしていた各企業が、人事異動や中途採用に目を向ける。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	雇用関連では猛暑や災害復旧に関わる様々な需要が発生するが、それに付随した労働力の確保は容易でない状況から、景気に与える影響は少ない。【職業安定所（次長）】
やや悪		8月の閑散期に一旦落ち着き、9～10月の繁忙期に再度、求人数と求職者の動きが活発になる。【人材派遣会社（社員）】	